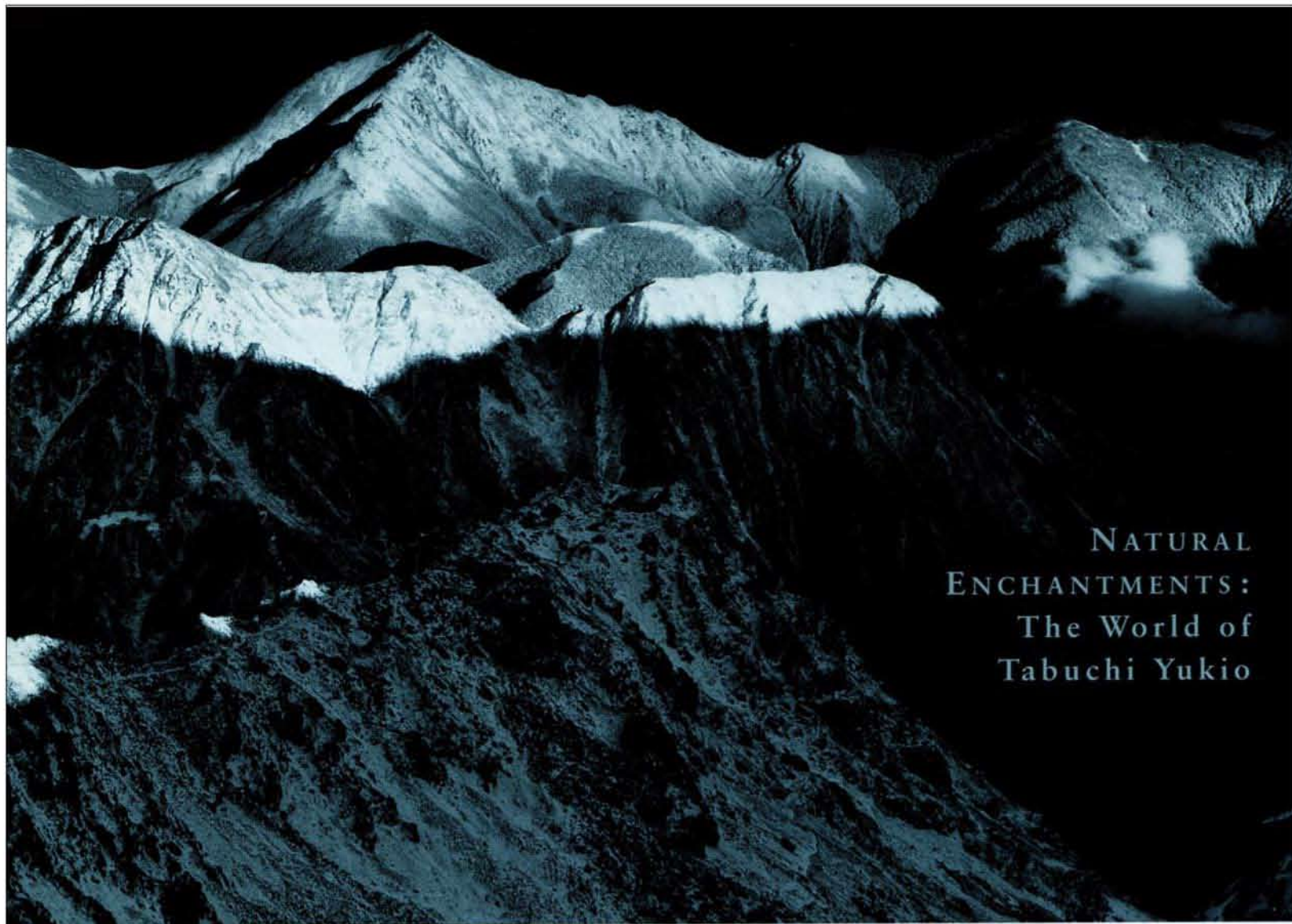




NATURAL
ENCHANTMENTS:
The World of
Tabuchi Yukio

生誕
100年記念

ナチュラリスト・ 田淵行男の世界

《暮れゆく常念》1973年10月 ©Tabuchi Hosaka 2005

2005 **4/23** 土 — **6/12** 日

東京都写真美術館 ◆2階展示室

主催：東京都写真美術館／田淵行男生誕百年記念事業実施委員会
読売新聞東京本社／美術館連絡協議会
協賛：ニコン／ニコンカメラ販売／JHI/EIDO／FUJIFILM／花王株式会社
協力：田淵行男記念館／光村印刷／山と溪谷社／恵比寿ガーデンプレイス
（社）企業メセナ協議会認定事業 **M**

開館時間 10:00-18:00（木・金は20:00まで、入館は閉館の30分前）
観覧料 一般700（560）円／学生600（480）円／中高生・65歳以上500（400）円
（ ）内は20名以上の団体料金。小学生以下及びお体に障害をお持ちの方とその介護者は無料。
第3水曜日は65歳以上無料。
休館日 毎週月曜日（ただし5月2日は開館）

東京都写真美術館
恵比寿ガーデンプレイス内
東京都目黒区三田1-13-3 〒153-0062
tel.03-3280-0099 URL: <http://www.syabi.com>



《暮れゆく常念（常念乗越より）》1973年10月



《左より大涌山、蝶ヶ岳、常念岳、横通岳 豊科町郊外より》1965年頃



《女王竜樹》（小さなラガーたち アシナガバチの生態）より 1960年7月

田淵行男 —— 科学者の眼と 詩人の魂をもった写真家

日本を代表する山岳写真家であると同時に、高山蝶をはじめとする昆虫生態研究、民俗学の貴重な記録となる雪形研究など、幅広い分野に偉大な業績を残した田淵行男。東京都写真美術館では、その生誕100年を記念して「ナチュラリスト・田淵行男の世界」展を開催します。

田淵行男は1905（明治38）年、大山を望む鳥取県黒坂村（現・日野町）に生まれました。自然に恵まれた環境で山を遊び場に育った経験はその後の彼の生き方を決定づけ、大学で博物学を修めたのち、教員としても自然の中で学ぶことを実践しながら本格的に山岳写真を撮りはじめました。

1945年7月に長野県南安曇郡西穂高村牧（現・穂高町牧）に疎開してからは終生安曇野の地に定住し、「自然から読みとり学ぶ知識がもっとも正しい」という独自の理念のもと、壮大な北アルプスと緑豊かな安曇野をベースに、高山蝶やアシナガバチの生態研究、山岳写真の最影にその生涯をささげました。

田淵はカメラによる観察記録をつづけたネイチャーフォトの先駆者であると同時に、山の自然をリアルに直視してゆく作風で、わが国の山岳写真に一時代を築いた写真家でもあります。また、自然を愛し、小さな生き物たちの生命の輝きを慈しみつづけた詩人の魂をもつ彼は、時代に先がけ独自の見解から環境破壊の問題に早くから警鐘をならしてきました。

本展覧会では彼の全仕事を紹介するとともに、愛用の写真機材、登山道具、写真集の絵コンテなど貴重な資料も併せて展覧、繊細な感性と自然への畏敬にあふれる田淵行男の写真世界の魅力にせまります。

フロアレクチャーのご案内
会期中、毎月第2・4金曜日午後2時より担当学芸員による展示解説を行います。観覧券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

セミナー・ワークショップ
「田淵行男を知る2日間」（協力 田淵行男記念館友の会）
田淵行男にゆかりのあるアーティスト、学識経験者、山岳関係者などによる作品解説やレクチャーなどを通して、参加者が作品と気軽にふれあうワークショップを開催します。

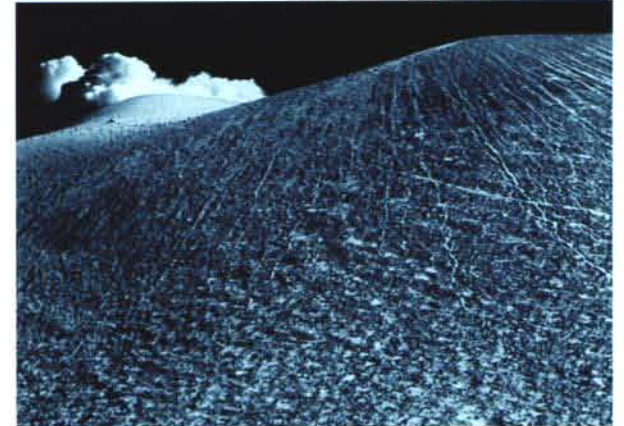
◆日時……………2005年5月21日（土）・22日（日）
◆講師……………田淵穂高（田淵行男長男）／水越武（写真家） 他
◆参加費……………1,800円（展覧会観覧料含む）
◆参加対象……………小学校高学年以上、両日参加できる方
◆申込締切……………2005年5月7日（土）必着
◆お問合わせ……………写真美術館ワークショップ係 tel: 03-3280-0099



撮影・水越 武

田淵行男 ●たぶち ゆきお / 1905-89
鳥取県生まれ。北アルプスと安曇野を主なフィールドとし、日本のネイチャーフォト、山岳写真の先駆的な存在として広く知られる。1950年にプロ写真家としてデビューした後は精力的に山岳、昆虫を題材とした写真集、エッセイなどを発表し、生涯で過算37冊の著書を発表。主な著書に『尾根路』（58年）『高山蝶』（59年）『北ア展望』（66年）『安曇野』（76年）『大雪の蝶』（78年）『山の紋章 雪形』（81年）『安曇野挽歌』（82年）がある。日本写真批評家協会（特別賞、功労賞）をはじめ、環境庁長官（自然保護思想普及功労賞）や日本植物学会から表彰を受けるなど受賞歴も多数。90年、豊科町に田淵行男記念館が開設。田淵作品約73,000点の他に細密画、愛用品などが収蔵される。

写真は全て田淵行男記念館蔵 ©Tabuchi Hosaka 2005



《初冬の浅間 黒樹山中腹より》1940年12月



《草間の咲き者 ベニヒカゲ》（高山蝶）より 1950年代



→ 田淵が使用したザックとビッケル
↓ 田淵が使用した手札版レフレックス・カメラ「ソボ・レフレックス」（英 エムペ・マリオン社製）



《クモマツマキチョウ》1947年
（田淵行男による蝶の細密画）



JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分 当館には専用の駐車場がありません。お車でのご来館はご遠慮ください。

東京都写真美術館
恵比寿ガーデンプレイス内
東京都目黒区三田1-13-3 〒153-0062
tel.03-3280-0099 URL: <http://www.syabi.com>